

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 花の木カノン		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日 ～ 令和7年11月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年9月10日 ～ 令和7年11月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの健康状態や日々の状況について、保護者と共通理解がもてていること	・毎日の送迎時に、保護者と情報共有をすることを意識している。 ・連絡帳を使用し、家庭での状況（起床・就寝時間、排泄等）を記入してもらい、事業所側はその日の活動内容やこどもの様子を記入するようにしている。	・保護者参加型の行事等の企画を検討し、保護者とより交流できる場を設定していけるよう努めていく。 ・放課後等デイサービス計画の見直し時には、保護者のみならず、相談支援事業所や他併用事業所との連携に努めていく。
2	こどもたちが安心感をもって通所し、通所することを楽しみにしてくれていること	・こどもひとり一人の発達段階に合わせた学習や活動を提供している。 ・学校休業日には、施設外活動（公園へのお出かけ・買物チャレンジ）や調理実習を実施し、活動プログラムが固定化されないように工夫している。	・こどもたちにやりたい活動を聞くなどして、活動プログラムをより豊富なものにしていけるよう努めていく。
3	全職員がこどものことを理解した上で、放課後等デイサービス計画作成に参画し、統一した支援につなげていること	・ミーティングを通して、こども一人ひとりの課題や支援の進捗度などを確認し合うように意識している。	・今後もミーティング等を通して、職員一人ひとりの意見を反映させた放課後等デイサービス計画の作成と、統一した支援の実施に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所のバリアフリー化が難しいこと	・建物の構造上、バリアフリー化ができない側面がある。	・階段に手すりをつけているため、今後もこどもが安全に通所できるように、移動時などの見守りや介助を徹底していく。
2	地域など他機関との連携が弱いこと	・地域交流に対して、どのようにしてアプローチを行っていいかわからず、受け身の姿勢であること。	・引き続き、学校休業日は施設外活動を取り入れ、公園や買い物など地域での活動を実施していく。 ・地域のゴミ拾いなどのボランティア活動などは行っているため、今後も継続して行っていく。 ・同法人内の施設が加入している町内会の情報を共有し、地域の行事への参加も検討していく。
3			